

開講年度・学期	2017年度・後期	授業形態	演習
科目名	外国語演習（仏語）	科目ナンバー	JALNG2203
英語表記	Seminar on Foreign Materials (French)	担当教員	国友 明彦
単位数	2		
科目の主題			
比較法(大陸法)〔ただし、下記記載のように変更の可能性あり〕			
授業の到達目標			
教科書レベルの法律フランス語が読めるようになること			
授業内容・授業計画			
<p>1. 何を読むかは、第1回目の授業時に参加者の希望をきいたうえで決定する。民事法、EU法、国籍法、比較法に対応可能。</p> <p>2. もし別段の希望がなかった場合には、下記のDavidほかの比較法の教科書を読むことを考えている。</p> <p>このうち、全体の序論、「ローマ・ゲルマン法系」（大陸法系）の歴史、構造(法分野の区分など)、法規範の観念、法源のような基礎的な部分から参加者の関心のある箇所を読んではどうか。</p> <p>3. 別段の希望がある場合には、教材準備の都合上、第1回の授業の前(なるべく早く)に国友まで連絡してほしい。</p> <p>4. 事前に分担を決めて、担当部分について音読した上、和訳してもらおう。訳を書いてコピーして全員に配布してもらおう。自分で調べるのが難しいと思われる専門用語や熟語であることが特にわかりにくいものなどについては、「訳のための注」をメールで送信するか紙で配付するかして事前に説明する。</p>			
事前・事後学習の内容			
<p>事前に自分の担当部分を訳してくることはもちろん、自分の担当部分以外の部分も読んでくること。辞書を引く手間を惜しまないこと。</p> <p>日本語の参考文献も紹介するので参照すること。</p>			
評価方法			
提出された訳にもとづく。			
受講生へのコメント			
フランス語基礎1-4をすでに履修していること(一般的な言い方をすると初級文法を履修していること)が必要である。			
教材 テキスト			
(予定) René David, Camille Jauffret-Spinosi, Marie Goré, Les grands systèmes de droit contemporains(現代の大法系), 12e éd. (Paris, 2016)			
法律用語辞典			
山口俊夫編『フランス法辞典』(2002, 東京大学出版会), Termes juridiques 研究会『フランス法律用語辞典[第2版]』(2002, 三省堂)、			
比較法の概説書			
滝沢正『比較法』(2009, 三省堂), 五十嵐清『比較法ハンドブック[第2版]』(2015, 勁草書房)			

その他

添付ファイルつき e-mail を送受信できることが望ましい。

内容についての希望や質問は：e-mail: kunitomo@law.osaka-cu.ac.jp, 研究室 806 号室、tel. 6605-2332 までどうぞ。

履修可能最低年次

2 年次生以上